

私は大学三年まで試合はもちろんのこと、練習ですらサンダーに乗ることがありませんでした。それが四年時にサンダーの馬匹担当に指名されたのです。「大変な事になった。」が正直な感想でした。

サンダーで戦った第一戦は殆ど練習することも無く迎えたものでした。不安がピークに達していたと記憶しています。それも競技をスタートすれば吹っ飛びました。飛ぶこと飛ぶこと、障害がどんなに高くても幅があってもバンバン飛んでいくんです。外から見る印象と乗った時の印象がこれほ



ブルーサンダー号に騎乗する高久和弘氏

ど違う馬は初めてでした。以前までであれば考えでもいかなかったレベルの種目にも出場するようになり、それ以降の私の馬術生活を変えてくれました。

馬房内ではおとなしく、放牧すれば（とりあえず）大騒ぎ、馬場から抜け出しサッカー場やラグビー場へ行く事もしばしば、そして試合に連れて行けば大活躍、と私の七年間の青学馬術生活の中で最もインパクトがあり思い出深い馬でした。

ブルーサンダー

渡辺 浩美

（昭和六三年卒）

「ブルーサンダーってどんな馬ですか？」「狼みたいな馬です！」これは三年の全日本学生でTVインタビューされた時の私のコメントです。

私とサンダーの出会い是一年の春休みで、コーチと愛知県の乗馬クラブに行った時でした。第一印象はまさに「狼」そのもので、体は他の馬に比べ小さく、たてがみは硬くてバサバサ。目付きも鋭く、人に媚びない。そして試乗することになりました。

今まで見たきた馬たちと雰囲気が違うなど思いながらまたがった瞬間、サンダーは勢いよく走り出し、ゴムまりの様なしなやかさで130cmの障害を次々と軽く飛び越えて行きました。乗っていた私はというと周りの景色はビュンビュン視界から消えて行き、耳には「ゴー」と言う音だけが聞こえ、やっと止まった時には何が何だかわからず呆然としていたのを覚えています。

数日後、サンダーが綱島にやってきました。着いた時には（馬積み間違えたのでは？）と思うほど穏やかな顔つきでおとなしく、不安になったコーチと私はとりあえず乗ってみることにしました。しかし、また乗った瞬間にあの「狼」の鋭い

目付きに変わり、ゴーと音を立てて私を引きずりまわしたのです。「確かにこの馬です……」

それから四年を終えるまで私達はコンビを組んで数々の試合に出場させてもらいました。しかしサンダーはいつもクールで他の馬にも興味がなく、馬特有の「人を見る」という事もせず、一番長い付き合いの私でも他の人でも全く同じ接し方でした。

サンダーの方から人と距離を置いている感じで、ともするとベタベタとペットのように接してしまう私達に対し、競技のパートナーとしての自分の役割と存在を主張し、教えてくれているようにも思えました。

当時、私のインタビューを見て子供じみたコメントだと思った方たくさんいらっしゃったと思いますし、もちろん私自身ももっとかっこいい事言えれば……などと思っただけですが今は「狼みたいな……」の前に「一匹」とつければ良かったと少し悔やんでいます。

以上



エクセル号の思い出

佐々木 直美

(昭和六十年卒)

私の現役時代、一番好きでかわいがっていたのはエクセル号という栗毛でほっそりした背の高い馬でした。確か昭和六一年だったと思いますが縁あって当時の専修大学から競技用障害馬として来ました。馬房の中でも手入れの時でも猫のようにおとなしく、新人時代にかまれたり蹴られたりすることが多かった私には新鮮でした。

ところがいざ乗ってみると決して乗りやすい馬ではありませんでした。第一に速歩の反動が非常に高く軽歩が取りにくかったのです。おまけに右に曲がりにくかったので、当時先輩に部班で見てもらっているときに「右に巻き乗り」などといわれると一人だけ大きくふくらんで周りに迷惑をかけていました。

三年生から試合となるとよく乗せてもらいましたが普段は重くてのんびりしているのに本番になるとしゃきつとして急に前にでるようになり、乗り手を多いに助けてくれました。引っかかることもほとんどない馬で良いリズムでポンポン障害を飛んでくれました。

大学から馬術を始めた私にとって、曲がりなりに競技にでれるようになったのは、エクセル号

のような優秀な競技馬に育ててもらったおかげだと思えます。普段かわいがっていた分きちんと試合では返してくれるような馬でした。

卒業して随分年月が経ちますが、大好きな乗馬をやめることができず、今でも時々馬術部におじやまして乗せていただいています。夫も馬に乗りますので夫婦共通の趣味です。卒業すると通常はなかなか乗ることができないのですが青学ならではのシステムでOBでも乗せてもらえる機会があることは大きな喜びです。

私事ですが、今年の二月末に子供を授かりました。まだ小さな赤ちゃんですがすでに夫と将来は馬に乗せたいね等と話しています。そのときはエクセル号のようにおとなしく乗り手の気持ちを汲んでくれるような馬に乗せたいと思います。

乗馬は年齢、性別を問わず長く楽しめる趣味で、このような生涯楽しめる趣味に巡り会えたことに感謝しています。



左がエクセルに乗乗する佐々木直美氏、ミーバ(藤崎氏)、チビことカネニシキ(百武氏)、前でVサインをしているのは松本美紀氏

エクセルについて

別府 尚子

(昭和六三年卒)

在学中は本当にお世話になった馬の一頭です。とても下手くそだった私でも、きちんとゴールまで導いてくれました。

ただ足があまり丈夫ではなかったので、私が卒業した翌年、私の故郷にあるララミー牧場さんにひきとっていただきました。

その前年にはトム・ボーイ(ブルーラグーン)も同じくララミーさんにひきとっていただいていたりました。

そこでは一年余りに渡って足の治療をしていた(その間、全くのただし食いでしたが、根気よく治して頂きました)、足がある程度よくなってからは、元来大人しく障害も飛びやすいエクセルのことでしたので、地元の小々な競技会などで活躍していたようでした。

私はいとうと、卒業してからは全く馬に乗ることもなくなってしまうので、時折ララミーさんに幸せそうな二頭を見かけては、ララミーさんにひきとっていただいていた良かったと思うばかりでした。エクセルはその後、役目を終えて出すとの事で、その時も、もういよいよ動けなくなるまで面倒を見て頂きました。たぶん、五、六年前だったと思

います。

トムについては、その後やはりララミーさんでの役目を終えましたが、彼は幸せなことに、とてもかわいがって下さっていた会員の方にひきとられ、今も元気に清里で放牧生活をおくっています。先日話に聞いたところ、まだまだ元気だとびはねる事もある位だそうです。

大学時代にお世話になった馬達に縁あって、こうして最後まで関わる事ができ（とは言っても、私自身はなにもしていないのですが・・・）、そしてその馬が現役引退後も元気にすごした事、又、まだまだ幸せに元気でいる事をお知らせできる機会をいただけた事を、とてもうれしく思っております。

ララミー牧場さんには感謝のひとつに尽きると思っております。そして、それに答えてくれたエクスセルとトムにも。

ララミー牧場のオーナーが今でも私に、「いい馬だったよ。」と言ってくれる事を誇りに思っています。

二〇〇三、四、七記



ブルースティンガー

箭内 裕二郎

（平成二年卒）



ブルースティンガーこと「ビゼンキンシ」との付き合いは、私が三年生の時に美浦のトレセンに

譲ってもらいに行った時から始まり、私が現役を引退（最後の試合もキンシでのリレー競技だったかと思えます）するまでの一年半の期間で、常に変化に富んだ楽しい付き合いでした。

競馬上がり新馬でしたので、調教が進んでいく中で色々な問題にもぶちあたることもあり、そのたびに、当時コーチの松本先生、田中さん、お手伝いをいただいていた松本（旧姓）美紀さんや先輩たちのご指導をいただき、何とかその問題を一つ一つクリアーし、障害競技に出れるようにま

でなっていたことを懐かしく思います。（ご指導ありがとうございます！）

また、「キンシ」には新馬の時から乗せていただいていただけに、他の馬には無い変わった思い出もあります。

それは、ズバリ！去勢した〇〇を「くろちゃん」（今もあるのでしょうか？）へ持って行ってみんなで食べたことです。不謹慎だと思いいなる方もいるかとは思いますが、捨てるのはもったないかな〜と思います。手術を見ている時はこっちが痛くなる思いでしたが、食べると、レバ刺しとレバナラ炒めの〇〇版といったところで、おいしいかった記憶があります。

他にも多くの思い出がありますが、試合での失権などの苦しい思い出はなく、現役時代の自分にとって「キンシ」は馬術の楽しみを多く自分教えてくれる良きパートナーであったと思います。

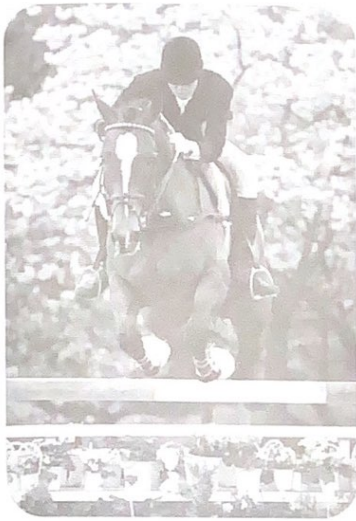
ブルーフラッグ

箭内 裕二郎

（平成二年卒）

諸先輩方を差し置いて私がブルーフラッグの思い出を語って良いのかとは思いますが、依頼がありましたので書かせていただきます。

フラッグは特徴のある馬でしたので、私以外に



もフラッグを思いで深い馬の一馬と感じていらっしやる方が多くいると思いますが、私の思い出の中のフラッグの印象は、「パワフル！&臆病！・・・でもいいヤツだから感謝してます」という感じです。

彼に乗るときは非常に体力が必要で（下手なせいかな・・・）、始めのうちは馬場を駆け足で一周するだけでヘトヘトになっておりました。調馬索をすれば、軍手をしてても手が焼けるほど引っ張るし、当然、試合でも走られました。それだけ力があるのに、馬場周辺で何かあるとその付近では、しばらく体を硬直させたり、行かなかったり、注射を打つときは、「針が通らないだろう」と突っ込みたくなるほど首を硬くしたりと、かなり臆病ものでした。

鞍をつけるときもうるさかったかと思いますが、フラッグは色々な癖を持てはおりましたが、ある

ときは障害馬（箱ものが苦手）、あるときは馬場馬、そしてまたあるときは練習馬と、マルチに活躍し当時の馬術部に大貢献していたと思います。私も多くの試合にフラッグで出場させてもらい非常に世話になり感謝している一頭です。

ブルーマリーン

村上 陽子

（平成二年卒）

愛称：フライデー（旧姓？）

松本先生の紹介でアバロンから入厩、どこから見ても牝馬。当時厩舎入り口に電話がありました。が、きっとフライデーは夜誰もいなくなると「もちもち。あたちフライデー。」などと電話に出ていそいだとよく話していたものです。

一年先輩の別府尚子さんは「フライデーをボケ



B・Mを囲んで 左から戸田(H5)、中山H5、高杉H4、依田H4、高久(H4)です

ットに入れて連れて帰りたい」とおっしゃっていったような・・・。

非常に体が柔らかく芸術的なバスキュールで、今でもフライデーの乗り心地は忘れられません。

ブルージェーンズ

村上 陽子

（平成二年卒）

愛称：アサ（競走馬名のダイナマイトアサから）松本先生が新馬から調教、アサといえはお神楽。いつもリズムに合わせて耳が揺れていました。新馬の頃はやんちゃで何度叩き落とされたか・・・



1986年、女子目馬戦を終えて、河村美木子氏所蔵

突如としてウイリーしながら爆走するのは当たり前！垂直立ちされ「そのままの姿勢」で地面に落下、私が体を起こすより先に尻つばねをし、後ろ足で砂をかけアサが走り去っていった光景を覚

えています。

もちろんそのあとは松本先生の「ばか。乗れ。」の一言で練習は再開されました。

引退後は松本先生の紹介で新潟の県馬連へ。今は牧場でのおんぴりと余生をおくっているそうです。

ペルシヤンブルー

(愛称…ペルシヤン、ペる)

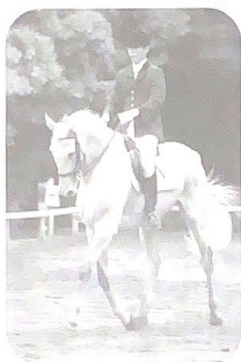
上原 達朗

(平成十四年度卒)

パクパク・・・平常時

パクパクパクパクパクツツッ！・・・あせっている時

ペルシヤンを知っている方なら、これだけでも



愛馬ペルシヤンブルーに騎乗して馬場を走る上原達朗氏

思い出せるのではないのでしょうか。

ペルシヤンは、僕が高等部馬術部2年のときに青山学院大学馬術部にやってきました。高等部で

馬を買ってもらえるという話があり、当時の高等部馬術部のみんなで、どうしても馬がほしいです。“といった内容の懇願文を学校に提出しました。その時の要請文はその後返却され、今でも僕が所持していて、今あらためて読んでみると、馬のことをよくわかっていなかったのによく書いたなあと思ひ、おもわず笑ってしまいそうな内容でした。

ペルシヤンはとても人懐っこく、真っ白な茸毛の馬体をしていて誰からもかわいがられる存在でした。しかし、人が跨るとどうしてもあわててしまう性格で、練習では敬遠されがちで、馬房の前には人だかりができるけど、外にでるとあまり人気がないといった馬でした。「ペる、かわいいのにねえ・・・」と度々言われ、まさにペルシヤンを象徴している言葉だなと思いました。

そんなペルシヤンは、僕を全日本学生総合馬術大会に出場・完走させてくれた、唯一無二のパートナーです。思い返せば一年間、ずっと一緒に過ごしていたように思います。「上原とペルシヤン、似てるね。」と言われたことがあります。同じ時間を過ごしてきた、似てきた、と言われることは何よりもうれしいことだと思いました。

(ペルシヤンブルー号はいま、OBの矢作さんに預かっていただき、東京・あきる野市にある、日の出乗馬クラブで元気に過ごしています。是非、会いに来てください。)

フィアンセの思い出

馬術部の思い出

田中 英樹

(平成十四年度卒)

昨年度、主将を務めさせていただきました。田中英樹ともうします。創部八十周年という大きな節目の「いななき」に、主将としての最後の大事な事を与えられ、大変にうれしく思っています。

主将という重責も、皆様方のご協力により、無事全う出来た事を、この場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。また、これからも現役を宜しく願っています。

私の一番の思い出に残った試合は、最後の全日本学生、フィアンセ(ブルーグレイス号)での二回走行です。あの時、フィアンセは、左前屈腱炎のため長い間休養しており、試合一週間前から本格的な運動を始めることができたぐらいでした。このような体調と調整で試合に臨まざるをえず、とても不安でしたが、結果は見事完走することができました。走行中何度も、止まってしまいうるような危ない場面がありました。大きな、とても大きな声援が、私とフィアンセの背中を押してくれていました。無事、完走することが出来たのも、監督、コーチの支えと部員達の助けがあったからだ、心から思いました。



フィアンセことブルーグレース号と共に
左から田中秀樹氏 (H14)、柴田明良氏 (H14)

私たちが馬術部を引退してほどなく、フィアンセも現役を引退し、佐賀県で繁殖牝馬として第二の人生をスタートし、今も元気に過ごしています。今年の三月にフィアンセに逢いに行きましたが、とても幸せそうにしていました。(おデブちゃんになっていましたが。笑)

私たち九人は、馬術部を引退し、それぞれの道に進みましたが、心は常に青学馬術部の誇りを持って、それぞれ頑張っております。これからはOB、OGとして馬術部をバックアップしていきたいと思っています。

馬術部員としての4年間、多くのお力添えをいただき、本当にありがとうございました。

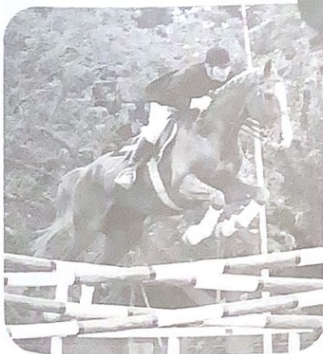


浜籬号 (今野幸夫氏、S53卒)

ハリー号、(河村美木子氏、S62卒)



トリプルチャンス号 (皇亨輔氏、S52卒)



青冠号、(宮澤真一氏、S53卒)



青留号、(伊納保夫氏、S46卒)

祝

青山学院大学馬術部創部 80周年

駒立乗馬スポーツ少年団



祝 馬術部創部 80周年記念

S.48年卒 齊藤 比佐郎

空調・電気工事・家電販売等
何でもご相談ください！

卒業しても馬一筋。馬に乗りたいので仕事頑張っています。
現監督大塚様の会社（大塚産業・共栄産業）のお仕事もさせて頂いています。

(有) 松葉屋商店

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-37-24

TEL : 03-3482-0261 FAX : 03-3482-0262

祝

青山学院大学馬術部創部 80年

アバロン・ヒルサイドフォーム

あなたの生活に足りなかったのは

"馬と過ごす時間" なのかもしれない…

横浜郊外の深い森に囲まれた丘の上で、

馬との素敵な時間を満喫してみませんか。



【ACCESS】

電車: 東急田園都市線「青葉台」駅・東横線「十日市場」駅より「若葉台中央」行バス乗車「霧が丘高校前」下車。徒歩3分。

お車: 東名高速道路「横浜町田インター」より約5分。国道246号線「御前田」交差点より約5分。



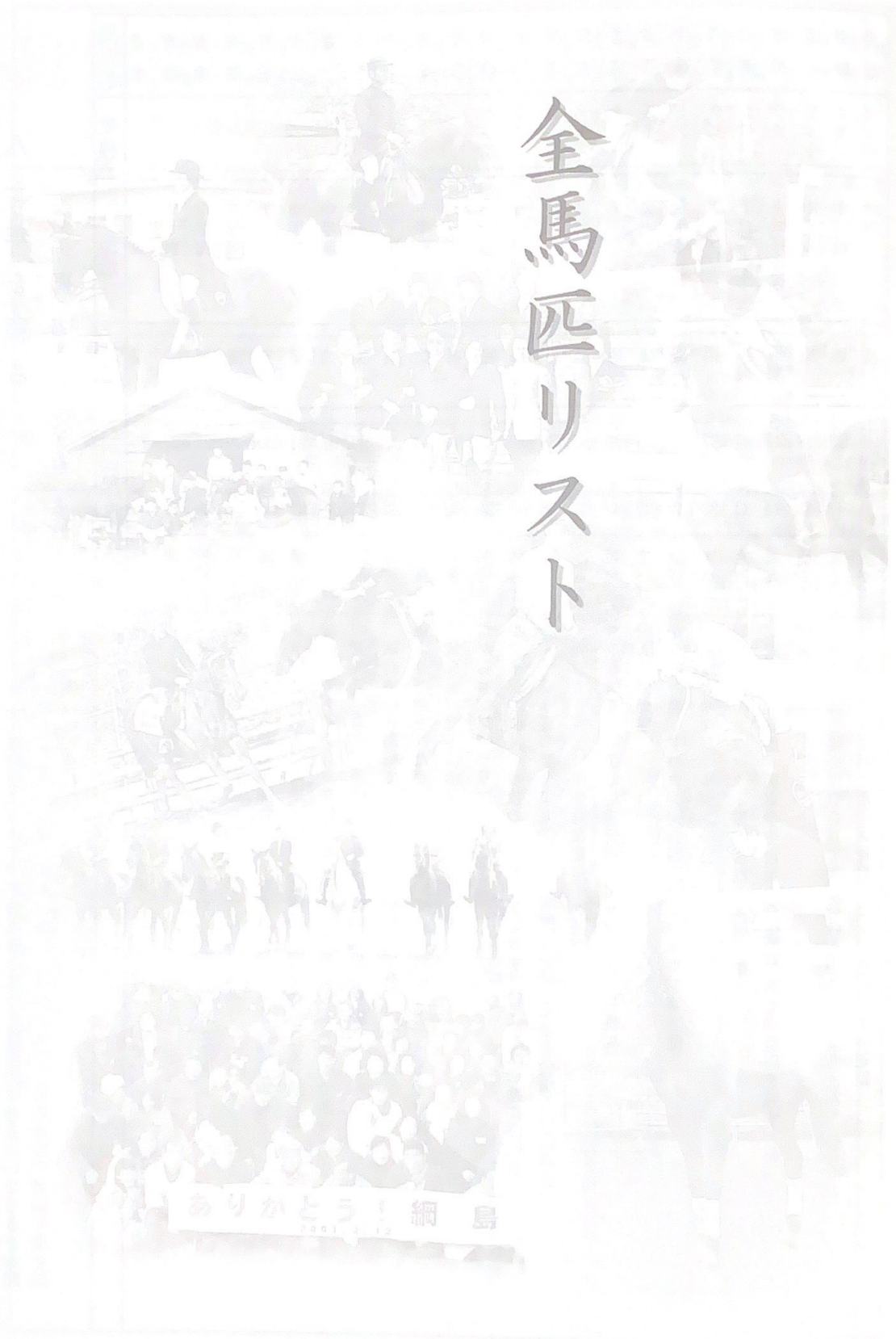
AVALON HILLSIDE FARM

〒226-0015 横浜市緑区三保町349番地

(お問い合わせ・資料請求): 045-921-7081 FAX: 045-921-7141

URL <http://www.avalon-hf.com>

全馬匹リスト



八十年を彩る
全馬匹リスト

※【在厩期間について】青駒以前の馬の在厩期間は過去のいななきを参照いたしました。以降の馬匹の関しては全日本学生馬術連盟の登録年度を記載いたしました。

馬匹名	愛称	種類	毛色	入退厩年度	コメント
青峯		中半血	栗	S 26	<p>我が校の自馬第一号、当時関東一反動が高く、鏡上げ5分間で10何回の落馬伝説あり部の一番苦しい時に、酷使に耐えてくれた。</p> <p>咬癖あり、購入時の輸送で後肢を痛め、それが原因で1年後に廃馬</p> <p>水沢より購入、小柄でバネがあつたが、学生馬術には向かず。</p> <p>馬格は小さいが、バネがあり練習では160cmも飛ぶ気性の激しい馬。</p> <p>横浜乗馬クラブより購入、馬場・障碍共に優秀、関東にて怪我後棄殺。</p> <p>よく首を伸ばしてダイナミックに飛越、更に馬場馬としても優秀であつた。</p> <p>阿部先生の調教で、馬場・障碍共に優秀、晩年は横浜乗馬クラブへ。</p> <p>素直な馬、試合中の人馬転で受けた傷から破傷風で死亡。</p> <p>奈良の先輩より寄贈されたが、すでに老いていたため、1年足らずで出厩。</p> <p>大変茶目っ気な馬、晩年は横浜乗馬クラブへ。</p> <p>期待されながらも、フィラリアで死亡。</p> <p>名馬ヒカルメイジの血統、多数の優勝カップを齎す。特に六段飛越に優れる</p> <p>関学より購入、貸与馬の試合に大活躍、「咬癖」あり、東京大会婦人障碍優勝。</p> <p>故青木真次先輩より寄贈。典型的な道産子タイプ。</p> <p>東京大会サンジュルジュ&中障害優勝、アラブ独特な根性馬。</p> <p>アバロン婦人障碍優勝、</p> <p>渋谷先輩からの寄贈、アバロン大会婦人サンジュルジュ2位</p> <p>アバロン大会婦人サンジュルジュ優勝。</p> <p>水沢より購入、初のトロッター系、青駒と異母兄弟</p> <p>大人しく、素直な人気馬、関東学生自馬大会優勝等多くの戦跡を残す。</p> <p>農大より購入。</p> <p>スーパ練習馬、練習後の湯気を見て誰が付けたか、オイモちゃん</p> <p>数々の戦跡を残す、スーパホース片目のゴン、骨折により退厩</p>
青姫		中半血	栗	S 30	
青兎		中半血	栗	S 27	
青翠		アラ	鹿	S 29	
青波		アラ	栗	S 30	
青嵐		中半血	栗	S 31	
青影		中半血	栗	S 31	
青葉		アラ	栗	S 32	
青幸		ア・ア	栗	S 32	
青菊		中半血	栗	S 33	
青麗		ア・ア	栗	S 34	
青剣	ケン坊	中半血	栗	S 35	
青渚	ナギ	サラ系中半血	栗	S 35	
月雪	ユキ	中半血	尾花栗	S 35	
青光	ドタ	重半血	鹿	S 35	
青武	タケ	ア・ア	鹿	S 36	
青慧	スイ	ア・ア	鹿	S 36	
青藤	ドン	重半血	鹿	S 37	
青扇	チビ	ア・ア	栗	S 37	
雷神	デカ	トロ系中半血	黒鹿	S 37	
青疾	ヒット	中半血	鹿	S 38	
青駿	イモ	中半血	鹿	S 39	
青驪	ゴンベ	サラ	鹿	S 40	

馬匹名	愛称(又は通称)	種類	毛色	入退 既年度	コメント
青湧	ホーズ	サラ	栗	S 41	<p>二部馬術部初の自馬、</p> <p>ステイブル出場時に腸捻転で死亡</p> <p>反動が高く、馬酔いで練習者泣かせの馬である。</p> <p>超高反撞、しかしきれいな伸長歩</p> <p>白井分場より寄贈を受ける。機械仕掛けの駆歩・大変素直な馬。</p> <p>恐怖の囁み付き、キック馬、京都産業大学へ</p> <p>騎乗者だけ障碍を飛越させるのが得意、いつも舌を出すので舌を縛られていた。</p> <p>小柄な馬でスーパ練習馬、奇病につき研究所で病理解剖。</p> <p>B馬場優勝、数知れず。</p> <p>吉尾氏より寄贈、小柄ではあったが能力は十分・アイラインを入れたような目。</p> <p>土手を歩いてきて入厩</p> <p>休馬明けは必ず落馬させる、落馬練習馬</p> <p>調教者を鍛える馬？</p> <p>S 46 東京大会六段3位</p> <p>馬匹担当になるのが名誉だった、ウィビーファミリ</p> <p>将来を嘱望されていた新馬だったが、飛節内腫で退厩</p> <p>競馬のオープン馬、去勢後、体調不良</p> <p>競走馬時代は東京4歳ステークス優勝、タービーにも出場(16着)</p> <p>阿部先生調教の馬場馬、パッサージュもできた。</p> <p>練習馬、前掻きで人を蹴るといふ特殊技能</p> <p>当時監督であった佐藤一貫さんが良く騎乗されていた</p> <p>毎日調馬策、人呼んで2蹄跡調馬策(馬と人の跡が残る)</p>
青華		軽半血	鹿	S 42	
青雲		サラ	鹿	S 43	
青豪	グレートフォンテン	ア	鹿	S 42	
青虎		サラ	黒鹿	S 43	
青貴		サラ	黒鹿	S 43	
青朋	ブルネン	サラ	鹿	S 44	
青冠	ラックストーン	ア	栗	S 44	
青笛	イリザキング	ア	鹿	S 44	
柏青		ア	鹿	S 44	
青蓮	ナンバーワン	ア	鹿	S 45	
青凜		ア	鹿	S 46	
ランサー		ハンター	柎栗	S 46	
青隼	スズハヤブサ	サラ	黒鹿	S 46	
第二青剣		サラ	栗	S 46	
リキオロック		サラ	黒鹿	S 46	
フジノテンカ		サラ	黒鹿	S 46	
青闘		ア・ア	黒鹿	S 47	
青優		サラ	黒鹿	S 48	
青雅	ウィービーライン	サラ	柎栗	S 48	
ハーバーキング		サラ	鹿	S 48	
青嵐	ジーガー	サラ	鹿	S 49	
スズボクサー		サラ	栗	S 49	
白扇		ア	芦	S 49	
グリーンラップ	チビ太	サラ	鹿	S 49	
ノーバ		ア	黒鹿	S 49	
ミーバ		ア	黒鹿	S 49	

馬匹名	愛称(又は通称)	種類	毛色	入退	既年度	コメント
カツテンリュウ		サラ	栗	S	49	足の強い馬、キャバレッティをへし折った。
トリブルチャンス		ハンター	栗	S	50	アイランド産ハンター、飛越時の前肢を良く折りたたむ
青蘭	クイーンエリザベス	ア	栗	S	51	190センチも飛ぶ元大障害馬、馬場馬として活躍、遠野で繁殖に
青駿	イチベイ	サラ	鹿	S	51	中山大障害で走っていた馬
ウイッチウエイ		ハンター	芦	S	51	高津さんの持ち込み馬、綱島のコンクリート塀も飛んでしまった？
浜藤		サラ	栗	S	52	元国体優勝馬、馬場も障害も成績優秀。
青鵬	アニーバブース	サラ	鹿	S	52	スパー練習場、ポロの量が半端じゃない、桜井ステイブルへ売却
青智	スパンカ	サラ	芦	S	53	京都産業大学より青冠とトリードし、入厩、馬場馬
青翔	タイホウドラゴン	サラ	栗	S	53	中山競馬場から購入、ラングラーランチに売却
青泉	ミスネブチュー	サラ	栗	S	53	川崎から日本酒で購入、練習馬
バーデン		?	鹿	S	53	桜井ステイブルより購入、190cmも飛越、遠野で繁殖へ
青鷹	ボートレスタ	サラ	黒鹿	S	54	中山競馬場から購入、人を怖がる小心者
青驪	イチエリート	サラ	黒鹿	S	54	量の多いソバージュのため、短くして鋤いても逆立つ！
青将	イナリショウゲン	サラ	黒鹿	S	54	ミホトレセンから購入、馬場馬に調教
青瑞	ファーストタイム	ア	栗	S	54	アバロンから購入、障害馬、立ち馬が非常に美しい、沖縄県馬連へ売却。
青崇	オーハリモア	サラ	鹿	S	54	アバロンから購入、有名な戦績を持つ障害馬
青遠	カネニシキ	サラ	黒鹿	S	54	青木総監督より寄付、牧野さん調教のセントジョージクラスの馬場馬
青寿	ジュピランド	サラ	黒鹿	S	54	川崎から日本酒で購入
青暁	タイコウセブン	サラ	鹿	S	54	ミホトレセンから購入
青劉(青隆)	タマセイラン	サラ	鹿	S	54	高津さんから購入、第2のセイリュウを目指し高津さんが命名
インバード		サラ	鹿	S	54	川崎から日本酒で購入
青遥		サラ	鹿	S	54	ミホトレセンから購入
青涼		サラ	鹿	S	54	背の高いストライドの大きな障害馬、暑さに異常に弱く、練習中に死亡。
青雄	シンキスパ	サラ	鹿	S	54	川崎から日本酒で購入、輸送時虹が出ていたので命名
虹		サラ	栗	S	54	青木真次総監督より寄付、道産子、遠野にて飼育
テムジン		道産子	柏	S	54	青木真次総監督より寄付、遠野にて飼育
青光		ボニー	鹿	S	54	青木真次総監督より寄付、遠野にて飼育

80年を彩る馬たち

馬匹名	愛称(又は通称)	種類	毛色	入退厩年度	コメント
青雪	イワン	サラ	芦	S 56	入厩したときにはもうすでにかなりの高齢馬だった。
青公		ア	栗	S 56	
ハリー		サラ	栗	S 56	アバロンより、松本先生調教 専修大より入厩、ララミーへ
青凌	エクセル	サラ	栗	S 60	
青妃	ミミー	サラ	栗	S 63	さく癖のため前歯が擦り減ってしまっていた。疝痛を起こし、馬房で死亡。
リツシユン		ア	栗	S 57	
青仙	アスマゴールド	サラ	栗	S 57	ミーバーに似ていたので、ミーバーと呼ばれていました
フジノタイセイ		サラ	栗	S 57	
チャップ		ア	栗	S 57	強そうな名前からは想像できない小柄な馬。 無敵艦隊
アトミックボンブ	アトム	サラ	栗	S 58	
アルマダ		サラ	栗	S 58	美浦トレセンから購入、毛づやがとても美しいかった。性格温厚。
武尊	スズバシイフィック	サラ	栗	S 59	
ジョナグレイス		サラ	栗	S 58	アバロンから購入した障害馬。華奢な体からは想像できないジャンプ力！ 厩舎に居るときは、可愛いけど馬場に出ると跳ねてばかり
ステイング	フライデー	サラ	栗	S 58	
アイリス		サラ	栗	S 58	全日本馬場セントジョージ優勝後、アバロンへその後青山へ 桜井ステープルから入厩、エクセルと同時にララミーへ退厩
ブルーマリー		サラ	栗	S 59	
プリンセスケイ		サラ	栗	S 59	馬場の主戦馬、身っ食いが癖、ダービー出場経験あり、伸長速歩が快適
グランドルビー		サラ	栗	S 59	
ブルーラゲーン	トムボーイ	サラ	栗	S 63	バンビのようなジャンプ力、馬鹿走り、お尻の斑点
ハッピータイム		サラ	栗	S 60	
ブルーハンター	アビー	サラ	栗	S 61	芦毛に月のような斑点の馬
タイタカシ		サラ	黒鹿	S 61	
グリーンダンディ		サラ	黒鹿	S 61	
ブルーマックス	セルリアンブルー	ア	鹿	S 60	
ブルージーンズ	ダイナマイトアサ	サラ	鹿	S 61	
ブルーサンダー	スイートセンセイション	サラ	鹿	H 11	
ブルームーン	マクロス	サラ	芦	S 61	

馬匹名	愛称	種類	毛色	入退 既年度	コメント
ブルーグラス	ドノバン	ライオンランド	鹿	S 61	ドイツからやって来た馬
ブルーエンジェル	ワッツネクスト	サラ	黒鹿	S 61	
ブルーフラッグ		D B	鹿	S 63	何でも食っちゃう(レモンは嫌い) 雑食馬
ブルーブラウニー		サラ	鹿	S 63	
ブルーアイランド	セミタフ	サラ	鹿	S 63	
ブルーストックマン		アパルサ	鹿	H 2	ものすごく大きい馬
ブルーインバルス	ジャンボ(スキー)	サラ	黒鹿	H 2	主戦馬兼練習馬、16歳で骨折のため引退
ブルーライト	オラシオン	サラ	黒鹿	H 2	
ブルーブラッド		サラ	鹿	H 2	
ブルージガー	ジガー	サラ	鹿	H 2	ハイセーコーの子、脚腰の強さはピカー、スーパー練習馬
ブルーステインガー	キンシ	サラ	黒鹿	H 2	スタートベルが鳴らなければスーパーホース。
ブルーオンワード	ミズーリ	サラ	鹿	H 2	こっつていうときに今ひとつのミズーリ
ブルーシユガー	ミスベイシー	サラ	芦鹿	H 2	芦毛の気分屋
ブルーランボー		D B	鹿	H 3	名前と裏腹に穏やかな性格
ブルーファイアー		サラ	鹿	H 4	
ブルースナイバー	スナイバー	サラ	黒鹿	H 4	名前の通り、人を狙って「咬」「蹴」という恐ろしい馬
ブルーダイアモンド		サラ	鹿	H 4	
ブルーマジック		サラ	栗鹿	H 4	
ブルーファルター		サラ	黒鹿	H 5	オガの食べすぎで仙痛に大事に至らず活躍
ブルーティアアラ	ウエストファーレン	中半血	黒鹿	H 5	フケの多いフケ次郎
コメンテーター			鹿	H 5	
ブチブルー	アミーゴ	サラ	鹿	H 5	九州の乗馬クラブで生まれたアミーゴの息子
クリアブルー(タランブルー)	ジャストバドガー	サラ	芦鹿	H 7	初山裕氏(H7卒)からの寄贈、愛称「おばあちゃん」
ネイチヤン	ハヤテエイコウ	サラ	鹿	H 7	既から独特な香りのした馬
オーシャンブルー	テスタロッサ	サラ	鹿	H 7	
ブルーブリッジ	クレアトウール	サラ	栗鹿	H 8	
ブルーチェリー	サクラ	サラ	鹿	H 8	総合、障碍馬、自由になりたい馬なのだ

馬匹名	愛称	種類	毛色	入退厩年度	コメント
ブルーライアン	ハーモニー	サラ	栗	H 9	ちよつと怖がり屋のハーモニー
ライジングブルー	ジョイス	サラ	鹿	H 9	馬場馬、青木昇前会長の寄付で購入
ミントブルー	サクゾー	サラ	鹿	H 9	水が大好き、馬事公苑で事故骨折
タイニーブルー	シロ	サラ	芦	H 9	小さくて可愛い、「青学のアイドル」。
ファンタステックブルー		サラ	黒鹿	H 9	
ブルーラグーン		ア・ア	黒鹿	H 9	馬場馬、飼い付け大好き
ブルーベルベット	チャンスチャンス	半血	青鹿	H 10	トリプルチャンスに続き、チャンスチャンス、やつぱりメチャデカイ
ブルーバーディ		サラ	鹿	H 10	
ブルーキャンター	エイシンテンベスト	サラ	鹿	H 10	競走馬時代、日本ダービーにも出場
ブルーグレイス	フィアンセ	中半血	鹿	H 10	名古屋から来たプリンセス、水壕がちよつと苦手、繁殖で九州に
ベルシアンブルー		サラ	芦	H 10	高等部で購入していただいた馬、現在OBに一時委託中
アクアブルー	ジンガー	サラ	栗	H 11	馬場馬
ブルーシーズン		サラ	芦	H 11	馬場馬
シドニーブルー	シドニー	サラ	青	H 11	
クラウドブルー		サラ	栗	H 11	犬みたいな馬。
ディーブブルー	ヒガシ	サラ	鹿	H 12	昔は、人を落とすのが趣味であったが、今は大変大人しくなった。
トレッドブルー	フジノハンゼル	ア・ア	鹿	H 12	総合馬
ブルーフライト	フォーリンアフェア	中半血	鹿	H 12	大きくて、モサモサした馬。
ワイルドブルー	ワールドタイム	サラ	栗	H 13	
ブルースコープ	ヴィクトワール	セルフランセ	鹿	H 13	
ブルーフラベチーノ	アルファ	サラ	黒鹿	H 14	元オリンピック総合馬 アシエンタより寄付、練習馬

※【在厩期間に関して】青駒以前の馬匹に関しては過去のいななきを参照しております。以降の馬匹に関しては全日本学生馬術連盟登録年、抹消年を調査し、記載いたしました。

※【コメント募集】青山学院大学馬術部緑鞍会公式ホームページが立上った時点でOBの皆様にURLをお知らせ申し上げます。HP上随時更新予定です。

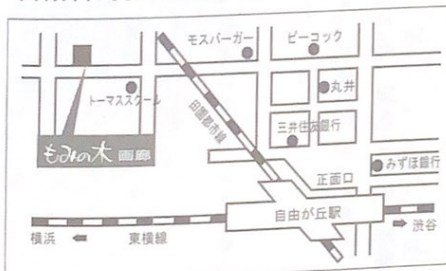
株式会社 横 林 社

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-15

TEL:03-3431-1774 FAX:03-3431-1465

明るいスペースが平面、立体を問わず好評。
駅から徒歩4分の落ち着いた雰囲気のギャラリーです。
若手からベテランまで作品ジャンルを問わず、貸し・企画画廊として使用されています。
盆、正月以外は年中無休、祝祭日もご利用いただけます。

展示スペース ●55.38㎡
壁面 ●27.1㎡
天井高 ●2.55m
AM11:00~PM7:00



東急(東横線・田園都市線)自由が丘駅から徒歩4分

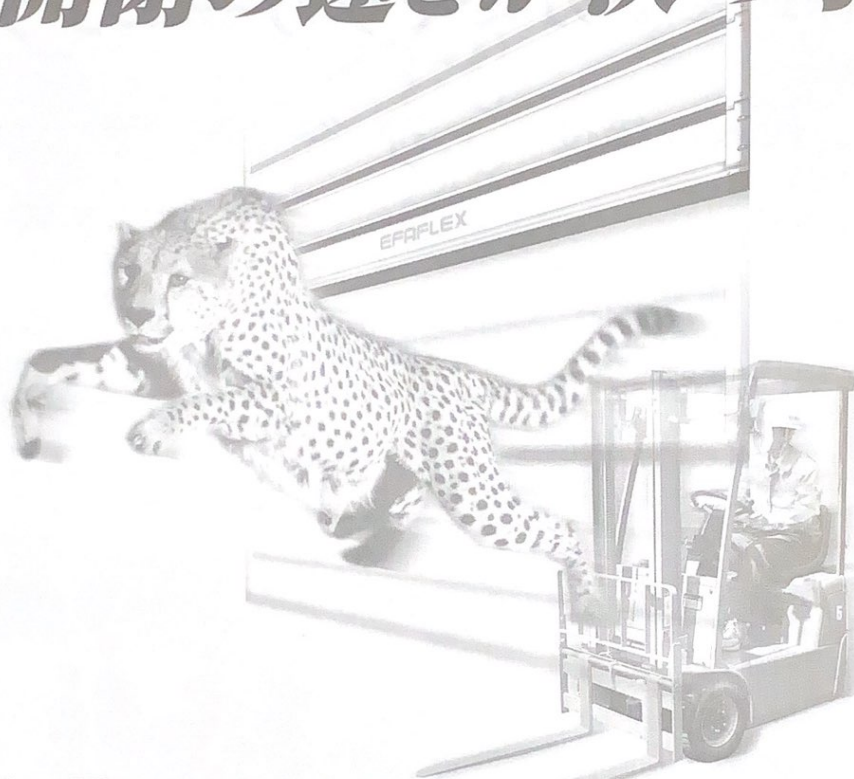
自由が丘

もみの木
画廊

〒158-0083 世田谷区奥沢6-33-14 もみの木ビル2F
TEL 03-3705-6511 FAX 03-3705-2515
<http://home.catv.ne.jp/kk/mominoki/> E-mail:mominoki@sr.catv.ne.jp

自動ドアのトップブランド・ナブコシステムが自信を持って発売

秒速3mの超高速ドア 開閉の速さが決め手。



最高毎秒3mで開閉するスピードとすぐれた気密性で、食品や薬品の製造工場への温度や塵の侵入をシャットアウト！
HACCP(食品衛生管理基準)に対応し、物流も効率化する、まさにビジネスを加速する超高速ドアです。



最高速度毎秒3mの
HACCP対応。

超高速ターボドア

- 独自のスパイラル巻取り方式のコンソールとスプリングメカニズムにより、超高速で滑らかな開閉を実現。
- ドアパネルは長期間透明性を失わない一層アクリルガラス製。意匠性にもすぐれています。



最高速度毎秒1.5m。
1台2役の高速スパイラルドア。

スパイラルドア

- 金属製ドアの保安性とシートシャッターの機能性を兼ね備えた1台2役です。
- ドアパネルは用途によって選べる各種オプションを用意。コンソールも設置条件に合わせて3つの形状から選べます。

【おもな納入実績例】

- ・製薬会社
- ・酒造メーカー
- ・食品加工工場
- ・清掃工場
- ・自動車メーカー
- ・マンション駐車場、等

広く建設業界にご奉仕する
ナブコシステム株式会社
<http://www.nabcosystem.co.jp>

詳しい資料をご請求ください。
営業開発部 東京都虎ノ門1丁目22番15号
製造元 エファレックスGmbH & Co.KG
24時間
365日対応

TEL. (03) 3593-0181
FAX. (03) 3593-0566

0120-072586
オネーラ コロロ

祝

青山学院大学馬術部創部80周年

株式会社 カミヤクリーニング

代表取締役 神谷 亮司

(昭和42年卒)

TEL : 03-3422-4937

現役紹介



四年生

・高遠 あゆ子

(石橋木綿記)

こんにちは。青学新主将、高遠あゆ子です。とってもかわいい私ですがだからといってへなちょこだと思っては困ります。逆境に負けないパワーと前向きで明るい性格で、日々頑張っています。

この前、試合の準備馬場で立ち上がったコンちゃんこと愛馬のコンチェルトにやられた目の周りのあざも、私の名誉の一つです。

ところで、こんな私が毎日馬場に持っていくものがあります。それは自家製のサンドイッチです。このサンドイッチを自慢しながら食べるのが日課です。もしかしたらこれが私の元気の秘密かもしれません。

そんなわけで、関東一の美人主将の座を狙っています。応援してくださいー！

・石橋 木綿

(高遠あゆ子記)

私は新四年の石橋木綿です。もめんと書いてゆうと読みます。大学から馬をはじめました。なの

で知らないことだらけで沢山のことを覚えるのは大変でした。私は数々の伝説を残しています。鞍なし馬装事件、ゲルお持ち帰り事件、遅刻記録事件など・・・皆さん覚えていますか！？

でも馬術部への情熱は誰よりもすごいです！特にヒガシが大好きです。ヒガシの馬房で寝たこともあります。おいしい肉まんはあげたけど食べてくれませんでした。ヒガシはすごく人見知りのする馬でしたが、今は結構人なつこいです。それはきつと私と遊んだからだと思います。

大変なこともあるけど、人十倍の頑張り屋さんナ私をこれからもよろしくお願いします！



四年生

石橋木綿(デープ・ブルー号) 高遠あゆ子(ブルーラグーン号)

三年生

・平岩 大典

僕は平岩大典20歳。愛馬ブルーフライト号と一緒にいるばる愛知県からやってきました。そしてこの青山学院大学馬術部に入学し、今副主将を勤めさせていただいています。

のほほんとした毎日を過ごし、なごみ系(?)で通っていると思います。(どうかなあ?)

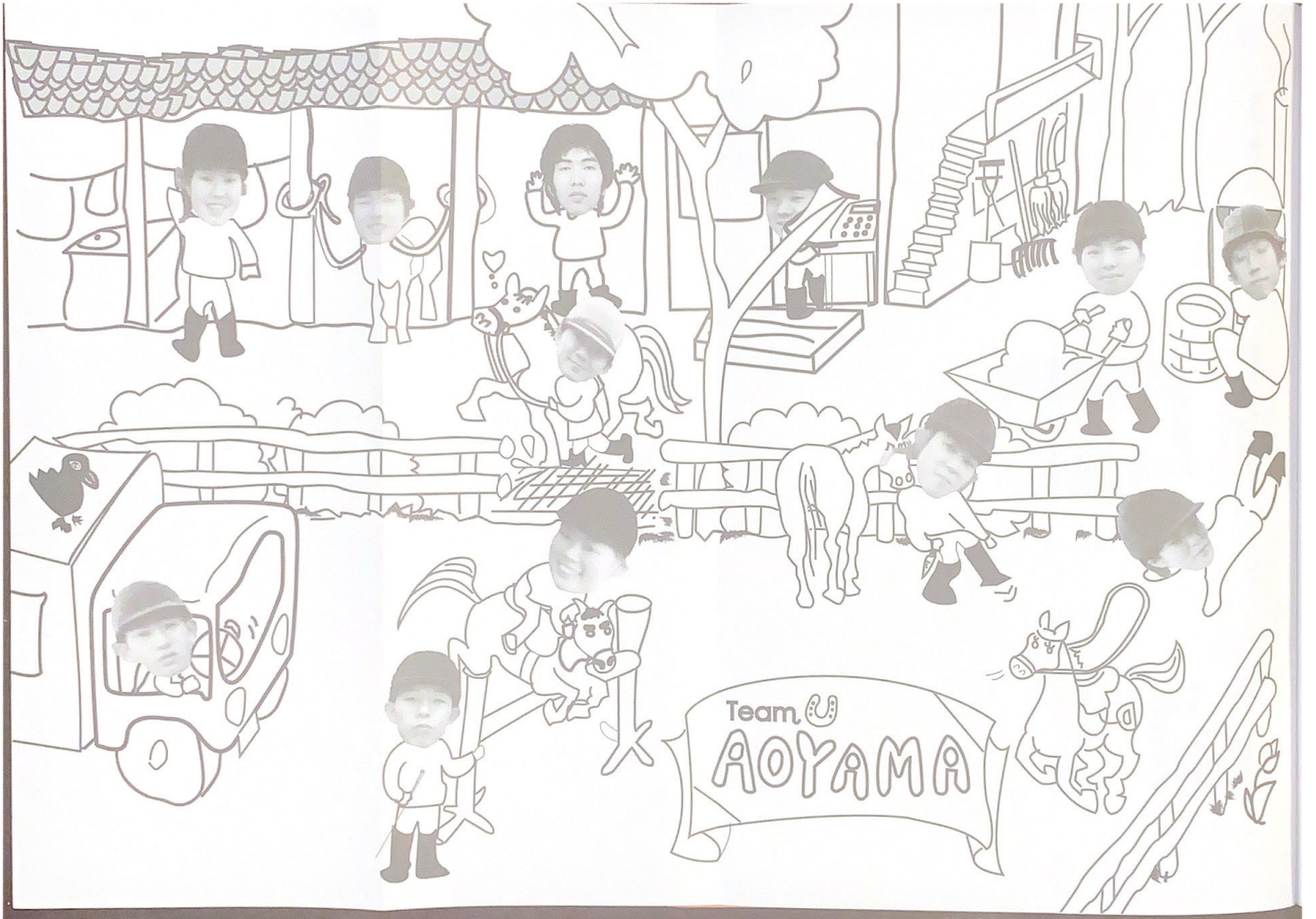
馬以外に、音楽が大大大好き！毎日好きなミュージシャンの曲をお風呂に入りながら熱唱しています。

時々、のほほんとしすぎてやらかしちゃう僕ですが、これからも頑張っていくのでどうかよろしくお願いします。



三年生

平岩 大典、ブルーフライト号



・澤田 麻衣子

(森田浩子記)

澤田麻衣子を一言で表すと、「大家族のお母さん。」パワフルで面倒見がよくて、いつもバタバタと忙しく動き回っています。彼女の独特な雰囲気と持ち前の明るさで、下級生をグイグイ引っ張ってくれます。でも・・少しおつちょこちよいで、天然ボケが入った性格なので、みんなに笑われたり、呆れられたり・・。そんな明るいキャラの澤田さんを私はいつも見守っています。

・森田 浩子

(澤田麻衣子記)

私は法学部に通っている森田浩子。みんなからは「森ちゃん」や「浩子」ってよばれている。青学馬術部に入るべくはるばる大阪からやってきた。馬場馬術を得意とし、アクアブルーの主戦として、数々の競技会に出場させていただいている。私の雰囲気は一言で言うと「姉ご。」しっかりと私の私は会計の仕事もしている。たまに平岩が装蹄代が必要だって前日までいってくれなくて「いつお金おろしにいくんよ！払わんよ！前前からいって言って言っとるやろ」大激怒！！大阪の人間なもので、言うときは言うよ。まあこんなときもありますが、さわつちとは気が合う。ほほ

毎日ガストに行くほどの仲。クリームドリームはおいしいよね。おっと甘いものに目がハート。こんな私でありますがかよろしく。



三年生

森田浩子(アグアブルー) 澤田麻衣子(クリアブルー)

・福本 健太郎

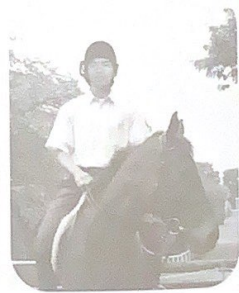
(平岩大典記)

僕は福本健太郎。三年の中では唯一の一般生で、経済学部所属。馬がとでも大好きで入部しました。馬ってほんとにかわいいんだよね。でももう一つ特技があつて、それはゲームが大好き！馬場でも部活が終わってから熱中するほど。でもやつぱり馬術が大好きだから、これからも頑張ります。みなさんどんどん上達していく僕を見守って下さい。よろしくお願いします！

二年生

・松本 拓也

(門脇 遼記)



三年生

福本健太郎(ブルースコープ号)

僕は国際政治経済学部二年の松本拓也です。僕は競馬が大好きで、ジョッキーにあこがれて自分でも馬に乗りたいと思うようになりました。地元乗馬クラブで乗っているうちに本格的に馬術をやりたいと思い、帝京第三高校の馬術部に入部しました。ララミー牧場や山梨県の馬術関係者の方々に大変お世話になり、馬術を続けていく自信ができました。青学にはセレクションによる入部を希望し、無事入ることができました。早い時期からの入部で仕事を早く覚えることができたのは大変よかったですと思います。同期の中でただ一人のセレクトし

てつらいことも多くありましたが、一年生のときの経験は何事にもかえられないものだと思っています。

今年は、後輩もできるのでこれまで以上にみんなを引っ張っていきたいです。また今年から数々の試合に出場できたらと思っていますのでウィクトワール共々応援よろしくお願いします！



二年生
松本拓也(ブルースコープ号)

・門協 遼

(関根 麻紀子記)

俺は法学部二年の門協遼。俺は中学二年の夏に親父に競馬場に連れてってもらったのがきっかけで競馬にはまってしまった。それから馬が大好きになって競馬場にかようようになった。

そして青学に入学して、新歓のときに馬術部があることを知って見学しに行き、馬がかわいいと思ったので入部した。最初は思っていたより厳しくて大変だった。でも多くの先輩や仲間と泊まり

のときに話したりするようになってだんだん部活を好きになっていった。

そんなある日、ジョイスに足を思いっきり踏まれて骨折してしまった。そのまま半年も休部してしまっただけやと最近戻ってこれた。そしてこの間横浜市民大会のジムカーナにポニータで出場してなんとはじめの試合で優勝してしまった！勝利の味ってこんなものなのかあ。

そんなわけでなんとなく入部したけど、今は馬術部が大好きだ！



二年生
門協遼(ライジングブルー号)

・関根 麻紀子

(成瀬 聡記)

私は青山学院経営学部経営学科に通う現役部員の関根です。馬は家の近くにある馬事公苑の弦巻少年団で軽乗からはじめ、中学一年から本格的に乗馬に取り組みましたので、馬歴は六年程で主に部活を中心に乗馬の基礎をみっちり学んできました。

た。

高校卒業と同時に少年団も卒業し大学入学と同時にすぐ馬術部に入部しました。もともと腰が悪い私には、部活の一年生作業にはきついものが多く、馬も一頭乗れば腰が限界で、先輩や同期の仲間たちを支えられながら日々過ごしています。

そんな私にも現在気になる馬がいます。それはライジングブルーことジョイスです。曳き馬のときによくかみついたりするから、まわりから好かれる馬ではありませんが、馬場運動の能力の高さに気付かされ今はベタ惚れしています。

できる仕事は限られているけど、その中でもやれる仕事を自分で探して積極的に取り組んでいくのでどうかよろしくお願いします！



二年生
関根麻紀子(ライジングブルー号)



・成瀬 聡

(松本 拓也記)

僕は法学部二年の成瀬聡といいます。去年までは、サッカーのキーパーを関西の高校でやっていて、去年の僕からは想像もできない生活を送っている日々です。サッカー部に比べたら仕事が多く大変な部ですが馬が大好きで、もちろん乗るのも大好きです。一日も早く上達して大会に出たいのが本音です。

ちなみに大好きな馬たちの中でも一番好きな馬があります。それは去年アシエンタ乗馬学校からいただいたアルファーことブルーフラベチーノです。アルファーには毎日のように乗っていて、一番僕が乗っているかなあ。さくへきばっかりするからそれをいっつもしかっています。しかももうじき300鞍達成です。

そんな僕はすごく頑張りやで何事にも一生懸命取り組んでいます。しかしそんな頑張りも時には空回りしてしまいます。(結構・・・?)でもそ



二年生
成瀬聡(ブルースコープ号)

れが自分のキャラクターなのです。こんなおっちょこちょいな面もありますが、これからも頑張っていきたいです。

・前田 文昭

(成瀬 聡記)

僕は、前田文昭です。現在、経営学部の二年生として、淵野辺キャンパスに通っています。経営学部の中でも特に、会計に興味を持ちながら勉強しております。

この馬術部に入学しようと思った最大の理由は、馬が好きだからです。そして、その馬を好きになった理由は、そもそも動物好きというのもありましたが、競馬を見て感動したからです。当時私は日本でなく、香港に住んでいたのですが、たまたまテレビをつけたところフジヤマケンザンという馬が香港国際カップで優勝したのです。そのときから、競馬というものになぜか親近感と興味を抱き、その世界にはまっていきました。そして様々な馬を知るうちに、馬って人と同じで個性があるんだなあと思うようになり、次第に競馬から馬へと変わっていきました。今は資格の勉強をしていますが、それが落ち着いたら復帰する予定です。これからも頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

一年生

・小河 慶祐

(松本 拓也記)

僕は、青山学院大学一年生で馬術部の新入生の小河慶祐といます。今年の四月にスポーツ推薦で青山学院に入学しました。今まで体育会系の部活としての経験がなかったので苦労と充実の日々を送っています。

青山学院大学馬術部での日々の生活は、毎週試合があり先輩方や馬十三頭とともにがんばっています。馬十三頭の中の一頭に「ブルーボニータ」という馬がいます。馬術部に入学する前から乗っていた馬で、その馬とともにこっちんちんやってきました。十三頭もの馬達を自分達で管理していく責



二年生
前田文昭(ブルーライアン号)